

Anu Leinonen Art & Textile Exhibition

from Sat. October 1
to Tue. October 18 2016



doinel journal

September, 2016

Take Free

doinelにて、フィンランド出身のファッション/テキスタイルデザイナーであるAnu Leinonen(アヌ レイノネン)のアート&テキスタイル展を開催致します。パリで自身の名前のブランドを展開後、現在はフィンランドに戻り創作活動を行うと同時に、フィンランドのテキスタイルメーカーLAPUAN KANKURIT(ラプアン カンクリ)と一緒に製品開発を行っているアヌ。さらに彼女はアートについて深く学び、「アートが人々を活性化し幸せにする」という日本でも注目されている臨床美術に興味を持ち、Encounter Artの指導者として大学を卒業。自身の創作活動も影響を受けました。アート制作とテキスタイルデザイン共に彼女のインスピレーションの源は、フィンランドの自然。特に子供時代を過ごしたフィンランド東部の湖水地方の水辺や森は想像力の源となっています。本展では、アヌが自然をテーマに制作したアートピースの展示・販売、またラプアンカンクリと一緒に開発した「USVA(霧)」と「KASTE(朝露)」シリーズのタオルやブランケットもご紹介いたします。ファッションデザイナーとしての経験を持つアヌならではのウォッシュドリネの素材を最大限に活かした新作「USVA scarf」の展示・先行販売も行います。

new arrival

SKULTUNA



1607年設立のスウェーデン王室御用道具メーカー、Skultuna (スクルトーナ)。シャンデリアから日用品まで、高品質な製品を作り続けています。各時代においてスウェーデンを代表するデザイナーとの作品を生み出し、今日ではCKR他、若手デザイナーと組んだプロダクトも多数発表。歴史ある製品と新しいデザインを提案し続けています。ひとつ置くだけで空間を引き締める真鍮は、お互いの素材感を引き立てるインテリアのスパイスとして効果的。周囲の景色を映す美しいつやも特徴ですが、経年変化によるくすんだ味わいも大きな魅力です。華やかさと落ち着きをもたらす存在感をお楽しみください。

vetements et accessoires

SCHA 2016AW



ドイツ・ケルンのデザイナー Ewa Kulasek (エヴァ・クラセク) によるSCHA (シャ)。天然素材を用い、彼女の小さな工房で手作りされています。彼女が作る帽子は、伝統的なフォルムと現代的な軽やかさを併せ持ち、被る人や被り方、被る場所によってさまざまな表情を見せてくれます。特に柔らかなウール素材は被りやすさ抜群、馴染みの良い存在感で、寒い時期の日常のアイテムとしておすすめ。男女問わずファッション経験豊かな方にリピーターが多く、一度被るとわかる、決めすぎにならない絶妙なバランス感が人気です。定番スタイルの他、毎回SCHAならではのアートな感覚を楽しめるデザインも楽しめますが、今季のスペシャルエディションはブラックのラビットヘア素材にブラックのドットがペイントされた“The Dark Side of the Moon - Black Holes”。想像力を掻き立てるようなネーミングも素敵です。

look at

Nordstjerne "marble board"



滑らかでエレガントな素材感が印象的な大理石(大理石)製のプロダクトを中心に展開するデンマークのメーカー、Nordstjerne (ノアスティヤーン)。2012年に設立、デンマークのインテリア業界に大理石を持ち込んだ先駆者として知られています。独特の緊張感とクリーンな気配を生み出す大理石のプロダクト。そのデザインはスカンジナビアの荒涼とした風景に大きな影響を受けているといいます。冷たく重みのある美しさで、強い存在感がありながら、あらゆるインテリアになじむのもポイント。リビングやダイニングの他、書斎や水まわり、玄関など、用途は幅広く、また真鍮や木、ガラスなど、異素材との組み合わせを楽しめるアイテムとしてご提案します。ひとつ取り入れるだけでシックな雰囲気が生みれます。



doinel standard

doinel original "Carta Varese Circlebox Set"

doinelではフィレンツェのファインペーパー“Carta Varese”を使用したオリジナルアイテムを制作しています。Carta Vareseは17世紀ごろに登場し、そのルーツはルネッサンスのオリジナルパターンにまで遡るといいます。丸い入れ子のボックスセットは小ぶりのサイズ感で、例えば手芸用品やお菓子など細々としたものの収納に便利。フタもしっかり深さがあり安定感があります。3種の花柄が美しいボックスは、そのまま並べてインテリアとしてもお楽しみいただけます。もちろんリボンをつけてラッピング使用もおすすめ。小さくても華やかな、特別なギフトになります。



prendre un canon

DELUC "Sommelier Corkscrew"

フランスで最も愛されているDELUC(デュルック)のソムリエナイフ。オーベルニュ地方ティエールにて、刃物職人と貴金属デザイナーにより1898年に設立されたDELUC社。現在は高級ソムリエナイフのシャトーラギオールと同じSCIP社にて生産されています。謙虚な思想によって堅実につくられたソムリエナイフは、シンプルデザインながら厳選された材料を使用、計算し尽くされた構造となっています。世界中のプロが愛用し、またほとんどのソムリエナイフはDELUCを参考に作られていると言われます。通常のソムリエナイフに比べ薄くコンパクトで、無駄のない機能美と、ポケットに入れても膨らまないスマートさも魅力。黄色い紙箱のパッケージも目を惹きます。



My favorite OAX

My favorite Modeliste "Maryse Faux"

1993年、デザインとパターンメイキングを学ぶためパリに留学中、後にエルメスのコレクションデザインを手掛ける服飾ブランド「Mariot Chanet」のコースを選択していた時、アシスタントモデリストとして働く機会を得ました。勤務初日、仕事道具が整然と並べられた明るいアトリエで、フランス人モデリストMaryse Fauxに出会いました。彼女も英語を話せたので言葉の不安が一気に消え、これから始まる新しい経験に胸を膨らませたことを覚えています。デザイナーのスケッチは彼らが頭の中に浮かべた洋服のヴィジョンを描き出すもので、時に曖昧なもので、それをいかに美しく、機能的で、かつ立体的な型にするかという点で、モデリストには緻密な計算と創造性が必要不可欠です。Maryseの仕事は細かい作業一つにも無駄がなく美しく、ここで学んだすべての経験は私にとって財産となりました。後に私が自身の初のコレクションを制作する際には、アトリエとして素敵なアパートを貸してくれたりと、縫製をしてくれる優秀な友人を紹介してくれたり、彼女はいつも貴重な手助けをしてくれました。Maryseはとても自立して



いて冒険心と好奇心に満ち溢れ、活躍はフランス国内に留まりません。教鞭をとるためにパキスタンやカイロ、上海の学校へ赴き、赴任先でもプライベートでカリグラフィーや中国画や陶芸を学びます。彼女自身も海外生活の中で働き上がる創作意欲に驚きを感じているそうです。今はフランス中部に拠点を戻していますが、そこでも自身で改装した家に住み、今度は油絵を学んでいます。出会った時からずっとエネルギーにクリエイティブであり続けることをやめない前向きな彼女は、会う度にたくさんの刺激を与えてくれます。

Anu Leinonen (ファッション / テキスタイルデザイナー)

フィンランドでファッションデザインを学び、ヘルシンキでデザイナーとしてのキャリアを積む。93年パリに留学、その後自身のブランドを設立し、天然素材のファッションを提案。06年フィンランドに戻り、ラブアン カンクリでUSVAとKASTEシリーズを開発。パリの雑踏とフィンランドの森、双方のコントラストを楽しんでいる。

doinel

[location]

3-2-9 Kita-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0061

It is 3 minutes' walk from Gaienmae Station of Ginza Line to doinel.

Open 12:00 - 20:00

Closed Wednesday

[contact]

tel +81-(0)-3-3470-5007

info@doinel.net

a_doinel

doinel

